

時代	西暦	主なできごと
昭和	1931	江若鉄道浜大津－今津間が開通する
	1932	大津市と滋賀村が合併する
	1933	大津市と膳所町・石山町が合併する
	1934	室戸台風により瀬田川鉄橋上で列車横転、堅田で竜巻が発生する 柳ヶ崎に琵琶湖ホテルができる（98 年に浜大津へ新築移転）
	1937	市営ガス事業が開始される
	1940	近江神宮ができる
	1942	大津海軍航空隊が際川にできる
	1943	大津陸軍少年飛行兵学校が別所に開校する
	1944	滋賀海軍航空隊が下阪本村（唐崎）にできる 大阪市の国民学校児童が大津に学童疎開する
	1945	東洋レーヨン滋賀工場に模擬原爆（パンプキン爆弾）が落とされる 終戦にともない、占領軍が大津市に進駐する（58 年までに撤収）
	1946	糸賀一雄らが石山南郷町に知的障害児施設「近江学園」を創設する
	1947	全国でいち早く大津公民館が開館する
	1950	逢坂小学校が文部省の建築モデルスクールに指定される
	1951	ガラス丸が琵琶湖に就航する 大津市と雄琴・坂本・下阪本・大石・下田上の各村が合併する
	1955	小松村・木戸村・和邇村が合併して志賀町ができる
	1956	国鉄（現 JR）東海道本線の京都－米原間が電化する
	1958	大津市が「国際文化観光都市」を宣言する 比叡山ドライブウェイが開通する
	1961	市制 60 周年記念で大津市章・大津市民の歌ができる 新瀬田川洗堰が完成する 国立大津ユースホステルセンターができる 大津市民憲章が制定される
	1963	名神高速道路の栗東－尼崎間が開通する
	1964	琵琶湖大橋が開通する
平成	1965	サンケイバレイが開業する（69年にびわ湖バレイと改称）
	1967	大津市役所が御陵町（現在地）に新築移転する 大津市と瀬田町・堅田町が合併する
	1968	びわこ大博覧会がにの浜で開催される
	1969	国鉄（現 JR）瀬田駅ができる 江若鉄道が廃線になる
	1972	「琵琶湖を美しくする運動」がはじまる
	1974	国鉄（現 JR）湖西線が開通する 近江大橋が開通する
	1975	大津市民会館が島の関の埋め立て地に開館する
	1981	びわこ国体と身体障害者スポーツ大会が開催される 大津市立図書館が開館する
	1983	びわ湖フローティングスクール「うみのこ」が進水する
	1984	第 1 回世界湖沼会議が大津市で開催される
平成	1987	葛川少年自然の家が完成する
	1988	京滋バイパスが開通する
平成	1990	大津市歴史博物館が開館する
平成	2006	大津市と志賀町が合併する



❶ 若鷺の碑
(大津陸軍少年飛行兵学校跡)



❶ 大津公民館
(現在の旧大津公会堂)



❶ 市制60周年記念行事



❶ 江若鉄道の廃線



❶ びわこ国体



大津の歴史年表



時代	西暦	主なできごと
旧石器	約2万年前	ナイフ型石器や石槍などの道具が使われる（真野、南滋賀、田上、瀬田などで旧石器が出土）
	約6500年前	縄文土器がつくられ、石山でセタシジミなどの貝や魚をとり、狩猟をおこなう人々が暮らしはじめる（石山貝塚）
	約3000年前	滋賀里の湖辺に集落や墓が営まれる（滋賀里遺跡）
	約2300年前	近江（湖南・湖東地域）で稲作がはじまる。弥生土器がつくられる
弥生	紀元前後～250頃	銅鐸などの青銅器が使われる（一老坊遺跡） 湖西南部に高地性集落が営まれる（新池北遺跡） 方形周溝墓がつくられる（南滋賀遺跡）
	250～500頃	前方後円墳（膳所茶臼山古墳）や前方後方墳（皇子山1号墳）がつくられる
古墳	500～600頃	堅田から小野にかけて群集墳（曼陀羅山古墳群や春日山古墳群）がつくられ、坂本から錦織には渡来系の群集墳（百穴古墳群、穴太野添古墳群など）がつくられる
飛鳥	607	小野妹子らが遣隋使となる（唐臼山古墳は妹子の墓と伝わる）
	645	乙巳の変が起こり、中兄大皇子（後の天智天皇）や中臣鎌足らが蘇我蝦夷・入鹿をたおす（大化の改新）
	667	天智天皇が近江大津宮へ都をうつす この頃、衣川廃寺、穴太廃寺、崇福寺、南滋賀町廃寺などの古代寺院がつくられ、山ノ神遺跡で大型の鰐尾がつくられる
	672	壬申の乱が起こり、大海人皇子（後の天武天皇）に大友皇子軍が敗れ、都は再び飛鳥へ移る この頃、大友村主家によって、園城寺（三井寺）が建てられる
奈良	710	奈良（平城京）に都が移る
	741	聖武天皇が諸国に国分寺の建立を命じる
	745	藤原仲麻呂が近江守となる この頃、近江国庁がつくられる
	747	良弁僧正、聖武天皇によって石山寺が建てられるという
	755	近江一の宮・建部大社が現在地に移るという
	759	淳仁天皇が石山国分のあたりに保良宮をつくりはじめる
	788	最澄が比叡山に一乗止観院を建てる（延暦寺のはじまり）
平安	794	京都（平安京）に都が移る 古津を大津に戻す
	810	薬子の変で、逢坂・鈴鹿・不破の関が封鎖される
	815	嵯峨天皇による唐崎行幸の途中、梵釈寺で僧永忠が茶を献じる
	820	国昌寺が近江国分寺となる
	834	小野篁が遣唐使に任命される
	859	相応が葛川の地に明王院を建てる
	866	円珍が園城寺を復興し天台別院とする
	993	寺門（園城寺）が山門（延暦寺）から分離、独立する
	1050	琵琶湖水運の主な港として堅田が記録に登場する



❶ 石山貝塚の縄文土器
(龍谷大学付属平安高等学校及び石山観光協会所蔵)



❶ 皇子山 1 号墳
(国指定史跡)



❶ 石山寺本堂（国宝）



❶ 建部大社



❶ 明王院（重要文化財）

時代	西暦	主なできごと
平安	1159	平治の乱に敗れた源義朝が伊香立の還来神社に武運を祈るという
	1184	源(木曾)義仲・今井兼平が栗津で敗死する
鎌倉	1185	源頼朝が全国に守護・地頭を設置する
	1192	源頼朝が征夷大將軍となる
	1194	この頃、源頼朝の寄進により石山寺に多宝塔が建てられる
	1280	比良新庄と小松庄・音羽庄との間で庄園の境界争いが起こる
	1317-19	この頃、伊香立庄と葛川が境界をめぐって争う
南北朝	1338	足利尊氏が征夷大將軍となる
室町	1394	室町幕府第3代將軍足利義満が日吉社に参詣する
	1405	足利義満が葛川の明王院に参籠して参籠札を奉納する
	1415	一休宗純が堅田祥瑞寺の華叟宗曇に入門する
	1456	坂本の馬借が土一揆を起こし徳政を要求して日吉社に籠る
	1460	蓮如が堅田本福寺の法住に十字名号(本尊)を与える
	1467	応仁の乱が起こる(～77年) この頃、京都の知恩院が伊香立に避難し新知恩院を建てる
	1468	延暦寺が堅田を攻める(堅田大賁)
戦国	1486	真盛が西教寺に入寺する
	1556	和邇庄と龍華庄の境界争いが栗原衆の仲介で和解する
	1571	織田信長が山門(延暦寺)を焼き打ちする 明智光秀が坂本城を築く
	1573	織田信長が滋賀郡の木戸城などを攻め落とす
	1582	本能寺の変が起こる 坂本城が落城する(後に再建)
	1584	羽柴(豊臣)秀吉が延暦寺の再興を許可する
	1586	この頃、坂本の城が天津に移される
安土・桃山	1587	天津百艘船が結成される
	1595	豊臣秀吉が園城寺の闕所を命じる(98年から再建)
	1600	関ヶ原の戦いを前に京極高次(東軍)が天津城で西軍を迎え撃つ
	1601	この頃、天津から膳所に城が移される
江戸	1602	京都方広寺の大仏鑄造に和邇の鋳物師が従事する
	1603	徳川家康が江戸に幕府を開く
	1612	天津の片岡庄兵衛が長崎で中国(明)の算盤を入手する(日本型算盤のルーツ)
	1624-44	この頃、天津絵が追分・大谷で売られはじめる
	1635	天津祭の狸山(鍛冶屋町)が建てられる(天津祭曳山の最初)
	1651	本多俊次が膳所藩主となる(再任)。以後本多氏が藩主を世襲する
	1662	近江を震源とする大地震が発生し、葛川・天津・膳所などが大きな被害を受ける
	1681	この頃、堅田の居初家に茶室と庭が完成する(天然図画亭)
	1690	松尾芭蕉が国分の幻住庵に入る
	1694	松尾芭蕉が大坂(大阪)で病死し、遺言により義仲寺に埋葬される
	1698	滋賀・高島両郡の村々が堅田藩領となる 今堅田村・真野浜村などが三上藩領となる
	1734	膳所藩士寒川辰清が『近江輿地志略』を編集する
	1735	天津町の米会所が幕府の御用米会所となる
	1804	伊香立の南庄で龍骨(トウヨウゾウの化石)が出土する
	1805	東海道の天津－京都間に車石を敷設、木戸石が使われる



① 祥瑞寺



① 本福寺



① 坂本城跡碑



① 「近江八景図屏風」に見える膳所城(本館所蔵)



① 大津祭
(重要無形民俗文化財)

時代	西暦	主なできごと
江戸	1808	膳所藩校遵義堂ができる(現県立膳所高校の場所)
	1816	中庄村庄屋の堀池茂雄によって灌漑用の溜池の工事がはじまる(三池)
	1837	歌川広重が浮世絵版画の「保永堂・栄久堂板 近江八景」を世に出す
	1852	四ツ子川(大物)に「百間堤」が築かれる
	1853	ペリーが黒船を率い浦賀に来航する
	1865	膳所藩で尊王攘夷派が検挙、処刑される(膳所十一烈士事件)
	1867	天津・瀬田・坂本・堅田で伊勢神宮などのお札が降る 大政奉還が行われる
明治	1868	明治維新により天津県ができる 日吉社で廃仏毀釈が行われ仏像・仏具類が破壊される
	1869	琵琶湖に最初の本造蒸気船「一番丸」が就航する
	1870	膳所城が廃城となり、膳所神社などに城門が移される
	1871	廃藩置県により市域内では膳所県・佐野県などができる
	1872	近江国内の各県が統合され、現在の滋賀県ができる 田上山系で砂防工事がはじまる 天津で最初の西洋料理店「開化楼」ができる
	1875	天津湊町に電信分局が開かれる
	1877	陸軍歩兵第九連隊が天津別所に駐屯する
	1877	亀丘(御陵町)が弘文天皇陵に決定する
	1879	滋賀県最初の県会議員選挙が行われる 天津商法会議所(現天津商工会議所)が天津白玉町にできる
	1880	逢坂山トンネルが完成し天津－京都間に鉄道が開通する
	1882	日本最初の鉄道連絡船が天津－長浜間に就航する
	1885	米国人のフェノロサ、ビグローが園城寺(法明院)の桜井敬徳から受戒する
	1888	岡倉覚三(天心)らによる日本最初の文化財調査が天津からはじまる 滋賀県庁が円満院から東浦(現在地)に新築移転する
	1889	天津に町制が施行される 東海道線が全線開通する 上田上の桐生にオランダ堰堤ができる
	1890	琵琶湖疏水が完成する(第一疏水。第二疏水は1912年完成)
大正	1891	天津事件が起こる
	1896	琵琶湖大洪水が発生する
	1897	京都電燈天津支社が建てられ、天津町内に電気の供給がはじまる
	1898	天津町に市制が施行される
	1905	瀬田川(南郷)洗堰ができる
	1906	天津市内に電話が開通する
	1912	京都三条大橋と天津札の辻間に京津電車が開通する(25年に浜天津まで延長)
昭和	1918	木戸村に志賀清林顕彰碑が建てられる 「琵琶湖周航の歌」ができる
	1921	東海道線付け替えにより東浦(現在地)に新しい天津駅ができる
	1926	東洋レーヨン滋賀工場、東洋紡績堅田人絹工場ができる 栗原に熊沢家の資料を保存する蕃山文庫が完成する
	1927	比叡山坂本ケーブルが開通する(日本最長) アメリカから日米親善使節として「青い目の人形」が日本の各地に贈られる
	1928	天津市役所が橋本町に新築移転する
	1930	上水道工事が完成し市内に給水される



① 百間堤



① 膳所神社表門
(重要文化財)



① 旧逢坂山トンネル



① 琵琶湖疏水
(国指定史跡)



① 志賀清林顕彰碑



① 青い目の人形
(平野小学校所蔵)